

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	農 業 集 落 排 水 事 業 費					
担 当 課 係 名	下 水 道 課		総 務 係		作 成 者	吉 田 稔
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち				総合計画の ページ
	基本計画	下水道の整備と水洗化の普及				
	主要施策	集落排水の整備				78
予 算 費 目	集落排水事業特別 会計	2 款 事業費	1 項 農業集落事業費	1 目 事業費		
事 業 期 間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度			新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☒ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	農業集落排水事業					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	・ 集落排水処理区域内の世帯及び事業所
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	・ 農業集落排水処理施設の整備により、農村の生活環境の改善を図るとともに、公共用水域の水質保全を図る
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	・ 下水道管渠（污水管）の整備

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	整備延長	目標	k m	87	90	92	
			実績	k m	87	90	92	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	水洗化率	目標	%	60.0	64.0	65.0	
			実績	%	55.4	56.9	64.0	
			達成度	%	92.3%	88.9%	98.5%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)		10,420,464		269,399	256,092	338,706	
	人 件 費 (B)		—		15,706	16,142	15,850	
	職 員 数		—		2.00	2.00	2.00	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト		—		285,105	272,234	354,556	
	財源内訳	国 庫 支 出 金		4,281,685		126,250	126,250	151,500
		県 支 出 金						
		地 方 債		4,883,600		144,900	140,700	189,000
		そ の 他		14,702			87	40
		一 般 財 源		1,240,477		13,955	5,197	14,016
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		3,277,069	3,024,822	3,853,870
市民1人当たりのコスト(円)		—		8,941	8,660	11,421		

【事務事業の今までの成果】

農集処理区：戸沢・桧木内・西明寺・西明寺西部・西明寺南部・前郷（6箇所）
 農集処理区：田沢（1箇所）事業中
 農集排水区域面積：326ha（整備済み面積284ha）

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	下水道事業を取り巻く状況が変化してきていることから社会情勢に対応した整備構想の検討を実施中
事業に対する市民の意見 （事業に対する期待、要望、苦情等）	環境保護意識の高まりを背景に下水道事業の必要性は認識しているが、整備のための莫大な事業費用及び個人に賦課される受益者負担金について一部住民からの理解が得られていない。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
D	A 現状のまま継続（実施）	現在整備中の箇所を除き今後実施予定地区は見直しが必要と思われる
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

今後予定されている地区（森腰・荒町）は、初期投資が合併浄化槽に比べ多額の費用が必要であり、休止、廃止を含めて見直しを検討する。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C 2	整備事業については計画どおりの進捗が得られているところです。 今後予定されている地区への対応を検討するとともに、供用している地区の加入率向上対策が必要と考えます。

一次評価診断図

